



認 定 書

国住指第 1639 号
平成 20 年 10 月 20 日

積水化学工業株式会社
代表取締役社長 大久保 尚武 様

国土交通大臣 金子 一義



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項(同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ〔防火区画貫通部 1 時間遮炎性能〕の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

PS060FL-0431

2. 認定をした構造方法等の名称

排水管・鋳鉄製継手管／外層付ロックウールシート材・セメントモルタル充てん／
床耐火構造／貫通部分（中空床をのぞく）

3. 認定をした構造方法等の内容

別添のとおり

(注意) この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

排水管・鋳鉄製継手管／外層付ロックウールシート材・セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

2. 申請仕様の寸法：

申請仕様の寸法を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法

項目		申請仕様
開口部	形状	円形：φ209mm以下
	面積	0.0343㎡以下
占積率 (開口面積に対する管の断面積の割合)		51.5%以下
貫通する床の構造等		鉄筋コンクリート 厚さ150mm以上（中空床を除く）

3. 申請仕様の構成材料：

申請仕様の構成材料を表2及び管の構成材料を表3に示す。

表2 申請仕様の構成材料

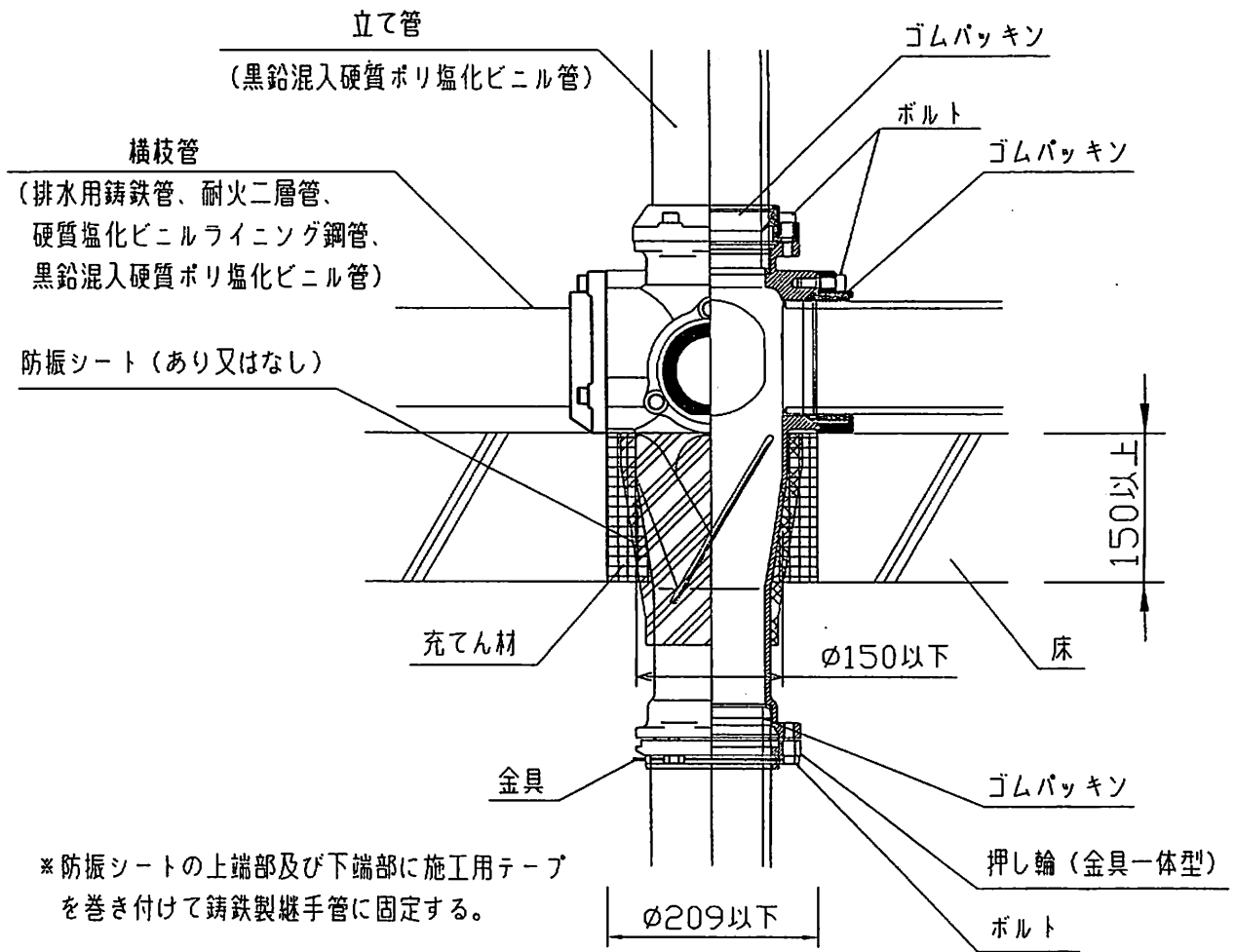
項目		申請仕様	
防振シート (あり又はなし)	材料	外層付ロックウールシート材 (図1参照)	
		寸法	幅200mm以上、総厚さ12.9±1.5mm
	本体	材料	①、②及び③ (3層) ①内層：ポリオレフィン系不織布付ロックウールフェルト ②中間層：ロックウールシート ③外層：アルミニウム・ガラスクロステープ (接着剤付き)
		密度	①内層：0.25g/cm ³ ②中間層：0.8g/cm ³
		寸法	①内層厚さ：10.6±0.6mm ②中間層厚さ：2.1±0.5mm ③外層：0.2mm以上
	接着剤 (外層用)	材料	酢酸ビニル樹脂系
		塗布量	60±20g/m ²
施工用テープ	本体	材料	アルミニウム・ガラスクロステープ (接着剤付き)
		厚さ	0.2mm以上
	接着剤	材料	アクリル樹脂系
		塗布量	60±20g/m ²
充てん材	材料	セメントモルタル	
	組成 (質量%)	普通ポルトランドセメント	25
		砂	75
使用量	隙間を密に充てん		

表3 申請仕様の管の構成材料

項目		申請仕様		
鑄鉄製継手管		種類	受け口タイプ	
		材料	本体：ねずみ鑄鉄品 (JIS G 5501) 表面処理：エポキシ樹脂粉体塗装 (焼付塗装) ゴムパッキン：NBR 及びEPDM 押し輪 (金具一体型) 本体：球状黒鉛鑄鉄品 (JIS G 5502) 金具：ばね用ステンレス鋼線 (JIS G 4314、φ3.5以上) 留付材：ボルト (M10以下)	
		形状	図1、図2参照	
		寸法	外径：φ150mm以下、内径：φ140mm以下	
排水管 (立て管)	黒鉛混入硬質ポリ塩化ビニル管	材料	黒鉛混入硬質ポリ塩化ビニル管 (ただし、外径及び厚さは、JIS K 6741に規定する寸法)	
		組成 (質量%)		
		寸法	外径：φ114mm以下、内径：φ100mm以下	
排水管 (横枝管)	黒鉛混入硬質ポリ塩化ビニル管	材料	黒鉛混入硬質ポリ塩化ビニル管 (ただし、外径及び厚さは、JIS K 6741に規定する寸法)	
		組成 (質量%)		
		寸法	外径：φ114mm以下、内径：φ100mm以下	
		種類	硬質塩化ビニルライニング鋼管 (日本水道鋼管協会規格WSP-042)	
	硬質塩化ビニルライニング鋼管	材料	外管：配管用炭素鋼管 (JIS G 3452の機械的特性に準拠) 内管：硬質塩化ビニル管 (JIS K 6741又はJIS K 6776の機械的特性に準拠)	
		寸法	外径：φ114.3mm以下、内径φ104.7mm以下	
	排水用鑄鉄管	材料	排水用鑄鉄管 (JIS G 5525)	
		寸法	外径：φ114mm以下、内径：φ100mm以下	
	耐火二層管	外管	種類	耐火二層管協会規格が定める耐火二層管
			組成 (質量%)	普通ポルトランドセメント 59~82 無機質混和材・軽量骨材 13~41 有機質繊維 5.5以下 無機質繊維 6.5以下
内管 (塩化ビニル管)		寸法	外径：φ129mm以下、内径：φ116mm以下	
		材料	種類：①~④の一 ①硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) (記号：VP及びVU) ②水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6742) (記号：VP) ③耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6776) (記号：HT) ④リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (JIS K 9798) (記号：RF-VP)	
寸法	外径：φ114mm以下、内径：φ107mm以下			

4. 申請仕様の構造説明図：
申請仕様の構造説明図を図1及び図2に示す。

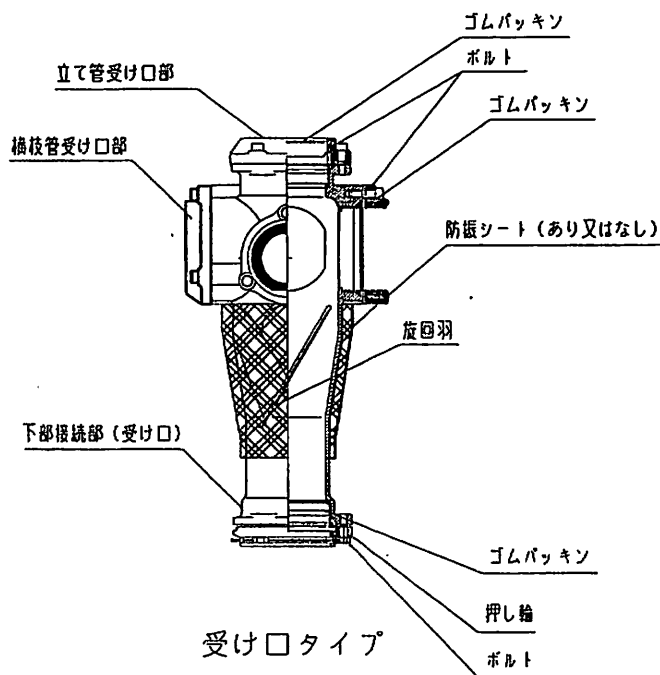
単位 mm



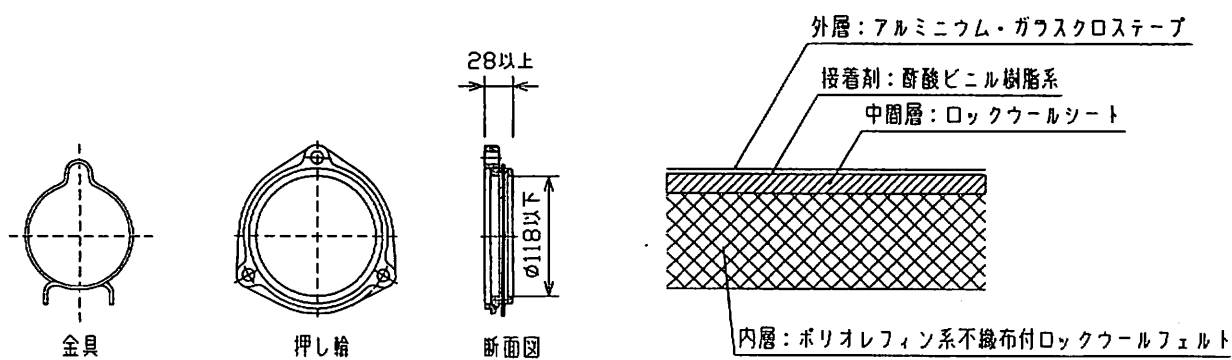
断面詳細図 (施工例)

図1 構造説明図

単位 mm



注) 図の形状は代表例を示す



押し輪 (金具一体型) の形状例

防振シートの詳細図

図2 構造説明図

5. 施工方法：

施工図を図3及び図4に示す。

施工は以下の手順で行う。

(1) 開口部の確認

開口部の開口面積、管の寸法、占積率、床の仕様、床の厚さ等が申請仕様に適していることを確認する。

(2) 防振シートの巻き付け（防振シートがある場合）

防振シートを所定の長さに予め裁断する。防振シートの上端が、継手が設置される開口部の上面にほぼ一致するように、継手に巻き付ける。（施工上必要に応じて防振シートの上端が、開口部の上面から露出してもよい）

巻き付けの初端と終端は、隙間なく巻き付け、施工用テープのアルミニウム・ガラスクロステープにて貼り合わせる。（オーバーラップしてもよい）

(3) 継手管と防振シートの固定

防振シートの上端部及び下端部に施工用テープのアルミニウム・ガラスクロステープを巻き付けて継手管に固定する。

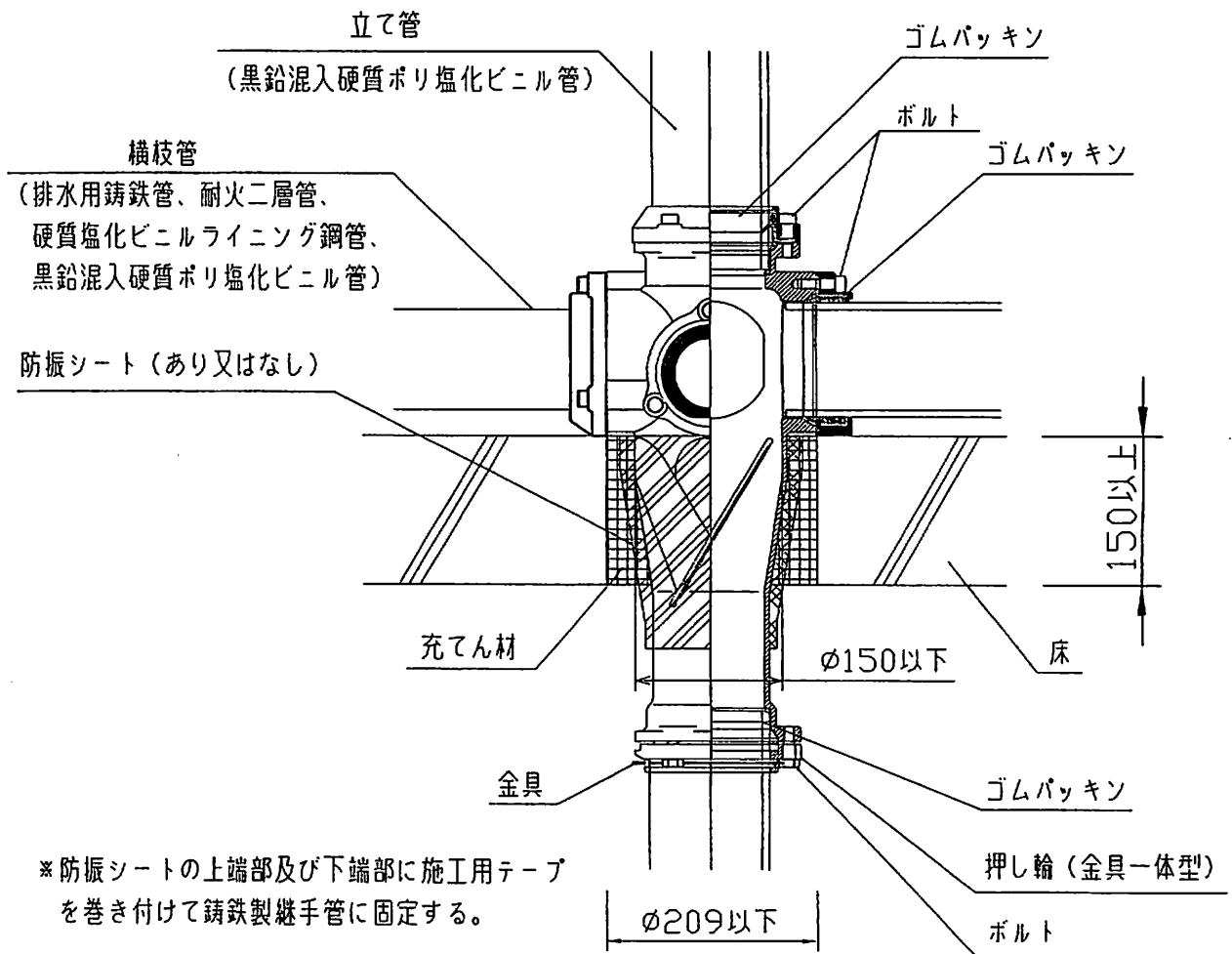
(4) 管と管の接続

継手管の上下接続部に排水立て管を接続する。また、横枝管接続部に排水横枝管を接続する。

(5) 開口部の埋戻し

継手管を所定の位置に設置し、開口部の下部に板等を用いて仮押えし、開口部にセメントモルタルを密に充てんする。

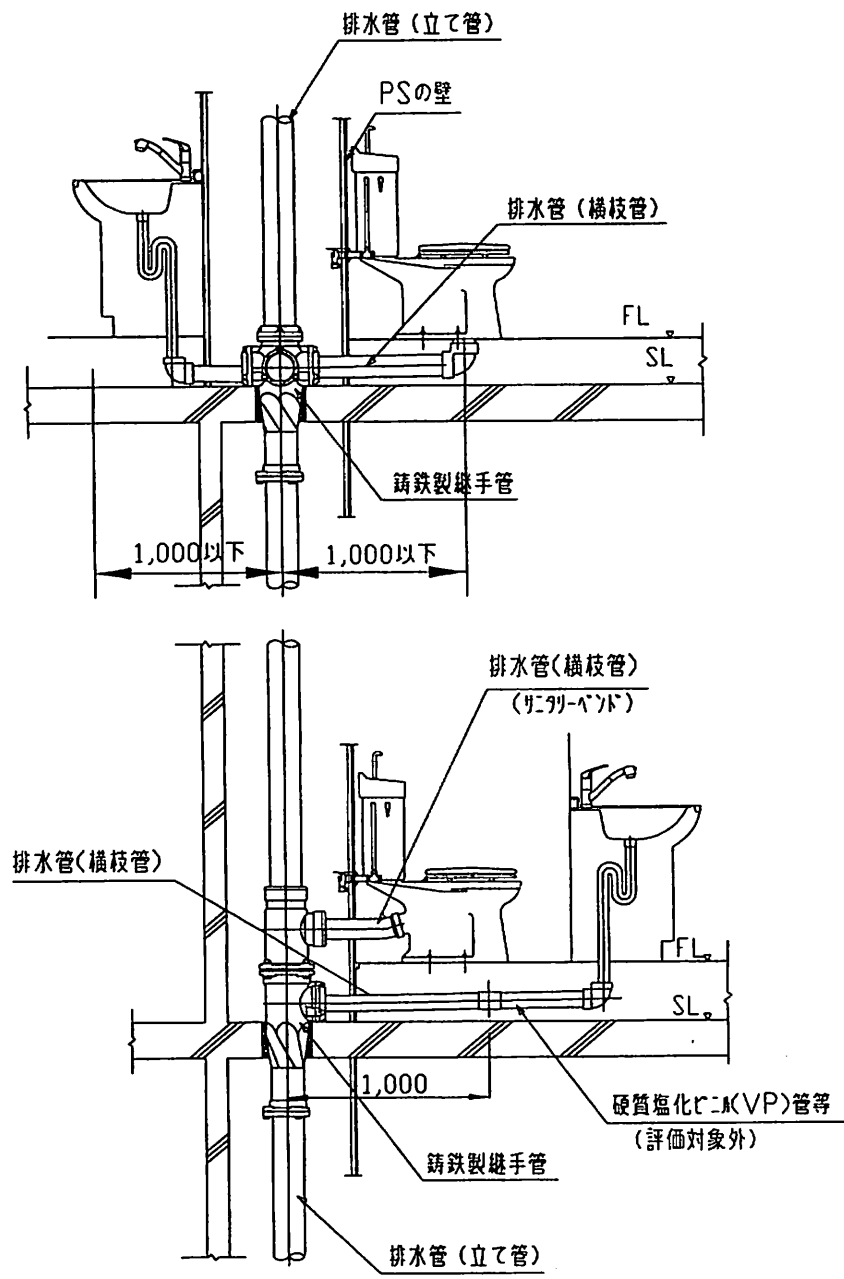
単位 mm



断面詳細図 (施工例)

図3 施工図 (床貫通部標準施工図例)

単位 mm



※注

- 1) 立て管：黒鉛混入硬質ポリ塩化ビニル管
- 2) 横枝管：排水用铸铁管
硬質塩化ビニルライニング鋼管
耐火二層管
黒鉛混入硬質ポリ塩化ビニル管

図4 施工図(床貫通部標準施工図例)